

あまりに辛くて家族にも言えなかった 戦場の実相を初めて語り合うのです

今、話しておこう

「私は、戦艦武蔵の生き残りです。あの一瞬は武蔵と私の長いタブーでした」
「サイパン島で重傷を負い、米軍捕虜に。私の突撃命令で部下は全員戦死しました」
「万世特攻隊基地のたった一人の生き残りです。誰に語れるのかという思いです」
「シベリアの凍土は仲間を葬るのに固くて掘れないのです。済まぬ、次はオレだ」
「16歳で少年兵として満蒙国境へ。軍幹部は早く逃亡。多くの開拓民を見捨てた」
「戦艦大和が火柱で裂けた。あの轟音と大渦巻きの目撃者は口を閉ざされた」
「硫黄島。じつは斬り込み隊と命名されて壕から順に追い出されたのが実態だ」
「中国戦線に4年。初年兵訓練で中国村民の刺殺。怖くて。むごくて。」
「あと二日で終戦だったのに、自殺した兵。そこへ追い詰めた上官が許せぬ」
「橋をやられ、広い黄河が日本兵の遺体で溢れた。岸に腕一本がぼつんと残った。」
「ニューギニアでは7割が餓死。亡くなる戦友を待ってその靴を食った」
「ニューギニアの私の部隊は40人が2になってしまった。地獄図をどう伝える」
「フィリピンのジャングル彷徨。日本兵の遺体に会うとホッとする異常心理で」

無色・無償・無名

保存会の私たちは全員、ボランティアです。いかなる政治的、宗教的立場もとらず、公的支援も受けず、ただ「戦場体験」を掘り起こします。組織もカネもない若者と元兵士たちが千人余。多くの戦友会とも連携しつついにこの大集会を迎えたのです。

戦場体験記念館

私たちは日比谷公会堂集会をテコにして、元兵士の戦場体験DVDを15万収録し、記念館を作ることを目標にしています。今、9・21集会の実行委員（参加費千円）と保存会への参加者を求めています。左記にご連絡ください。資料をすぐ送ります。

主催 元兵士の会、戦場体験放映保存の会、

公益社団法人「マスコミ世論研究所」

〒150-0047 東京都渋谷区神山町17-1

Tel 03・3465・6066 Fax 03・3465・1671

※（）連絡は記録のため出来るだけFAXでお願いします。

実行委員の約束 この集会への賛同・ひとりを誘う・千円を寄付する

お名前
ご住所
お電話

メール